



こころざし

【学校教育目標】
夢の実現に向かって たくましく
挑戦する児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第 2 号

令和6年4月23日発行

文責 校長 多久島 一仁

3名の児童・生徒が入学しました

4月10日（水）に中学1年生 男児1名、小学1年生 男児2名が入学しました。コロナが明けて初めての入学式であり、この日は島内外から来賓の方々にもおいでいただき、また、天気にも恵まれ、華やかな式となりました。島留学で4月から登校している中学3年生 男児1名、小学4年生 女児1名も新たに加わり、児童生徒数が10名になりました。児童・生徒数が二けたになるのは7年振りで、昨年度の5名から倍増しました。

元気に登校しており、昼休みなどは全員が体育館に集まってドッチボールをするなど、活気に満ちています。16日（火）は職員VS児童・生徒でドッチボールをしましたが、職員チームは負けてしまいました。

これからも10人の子どもたちと18名の職員で明るく、充実した学校生活を送っていききたいと思います。



夢の実現に向かう話

4月17日（水）の集会で、私から夢を実現した人の話をしました。古川 愛理さんというシンガーソングライターで、彼女は私が以前担任した生徒でした。彼女が小学生の時には一緒に地区の公民館で卓球をしたこともありました。小学生の頃からピアノを習うなど、音楽が好きで、「ヘレンケラー」や「キュリー夫人」などの伝記をよく読み、一人の人生が本になるということに衝撃を受け、歴史に名を残すような人になりたいと思ったそうです。中学3年生の時は県の英語暗唱大会で2位になり、高校生の時は卓球の団体で九州大会に出場したこともありました。文武両道に頑張っていた彼女が、大学生になってからは路上ライブをするようになり、音楽で人を感動させたいと思うようになり、今に至ったということです。



思いの強さがあれば、困難があっても夢を実現できる、一所懸命に頑張ったことが今につながっているということを教えてくれているように思います。

これからも愛理さんを応援し続けていきたいと思っています。

私の人間観

私には二つの人間観があります。それは、

- 人間は成長する動物である。
- 人間は感動させることのできる動物である。

というものです。

子どもたちはまだ幼く未熟な部分がたくさんあります。大人である自分自身を振り返ってみても、子どものときはこんなところが駄目だったなと思うことがあります。人によって大きく成長する人もあれば、少しずつ成長する人もいるでしょう。ですが、一日1ミリでもだれもが成長するのではないかと考えています。

そして、もうひとつ、人間は生きて生活する限り、だれだって人を感動させる力をもっていると思います。感動というのは何も一部のすごい結果を出す人にだけ与えられたものではありません。それまでできなかったことができるようになるだけでも人は感動を与えることができるし、ちょっとした思いやりのある言葉をかけたり、手を差し伸べたりするだけで感動を与えることができるのだと思います。

こうした二つの人間観を心に抱きながら、長い目で子どもたちを指導していきたいと思っています。



